

<トーナメント表 Aブロック>



☆準々決勝の対戦相手福岡大は今年の7月におこなわれた総理大臣杯準決勝で駒大とPK戦までもつれ込んだ相手。リベンジを果たそうと並々ならぬ気迫で攻めてくるに違いない。駒大にとって気を抜けない相手だ。

この試合では徹底マークにあった原。仕事をさせてもらえなかった



MAN OF THE MATCH

橋本早十(4年)



後半は再三左サイドを駆け上がったリ、右サイド中田とのサイドチェンジ行ったり、相手を揺さぶった。さらには74分、待望の先制点をたたき出した橋本がこの試合のMan Of The Matchに決定。



▲1回戦に続き無失点に抑えたD F陣。写真中央は筑城
▲田中は鋭いパスカットなど守備面で貢献

11月9日 13:15 アミノバイタルフィールド
駒大 2(0-0)0 浜松大
(関東第1代表) (東海第3代表)

得点者(アシスト)

【駒】74分: 中後雅喜 2(巻 佑樹 1)
【駒】80分: 橋本早十 2

KOMAZAWA	HAMAMATSU
GK①牧野利昭(2)	GK①宮城達也(4)
DF⑬筑城和人(1)	DF③土屋 真(2)
DF⑤鈴木祐輔(3)	DF④富松範臣(3)
DF②桑原 靖(2)	(86分②石館靖樹(1))
DF④小林 亮(3)	DF⑤祖父江純太(1)
MF⑦田中信成(4)	MF②新井祐二(3)
MF⑧中田洋介(4)	MF⑨山本朝陽(2)
MF⑩橋本早十(4)	(77分⑬岩田卓也(2))
(88分⑩根本真吾(2))	MF⑥中井崇之(3)
MF⑥中後雅喜(3)	MF⑧渡邊 俊(3)
FW⑫巻 佑樹(1)	MF⑩大石哲也(2)
(84分⑫鈴木亮平(2))	MF⑨三原豊昭(3)
FW⑬原 一樹(1)	FW⑪萩田祐介(3)
(69分⑬赤嶺真吾(2))	S U B
S U B	GK⑫新田悟士(1)
GK⑫太 洋一(3)	DF⑯岩田宏樹(2)
DF⑬廣井友信(1)	MF⑯山ノ井隆義(1)
DF⑯大澤陽介(3)	MF⑬脇嶋優樹(2)
MF⑯中嶋裕太(3)	FW⑭清 大介(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	長谷川健太

警告(C)/退場(S)

【駒】28分: 桑原 靖(C)、89分: 桑原 靖(S)
【浜】47分: 土屋 真(C)、55分: 山本朝陽(C)
[シュート]20:6[枠内シュート]5:1 [決定機]7:1 [GK]3:17
[CK]8:3 [PK]0:0[直接FK]8:17 [間接FK]3:7 [OS]3:7
[主審]前之園晴廣 [観衆]約300人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です



基本フォーメーション



準々決勝の対戦カード

- 11月15日(土) 江東区夢の島競技場
● 阪南大学 VS 東京学芸大学 (11:00~)
● 立命館大学 VS 筑波大学 (13:15~)
11月16日(日) 西が丘サッカー場
● 関西大学 VS 流通経済大学 (11:00~)
● 駒澤大学 VS 福岡大学 (13:15~)

準決勝で駒大とPK戦にまでもつれこむ死闘をくりひろげた福岡大。このときの駒大の勝因は「最後まで諦めない」という気持ちだった。ますます敵しさを増す戦いでどれだけ気持ちをもつてやれるか。3冠達成はそこにかかっている。(永峰 陵)